



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月6日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <https://www.mcml-maruken.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井ノ上 雅弘
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 新井 祐宏 (TEL) 03(5404)8200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,703	7.0	1,231	7.1	1,404	8.5	1,018	11.3
2024年3月期第3四半期	15,614	10.6	1,149	13.0	1,294	4.9	914	1.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,118百万円(5.9%) 2024年3月期第3四半期 1,056百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	320.94	—
2024年3月期第3四半期	288.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,757	17,175	47.7
2024年3月期	32,540	16,456	48.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,567百万円 2024年3月期 15,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	65.00	115.00
2025年3月期	—	65.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	3.2	1,350	1.8	1,620	2.4	1,180	1.6	371.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	3,429,440株	2024年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	256,545株	2024年3月期	256,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	3,173,049株	2024年3月期3Q	3,173,255株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな景気回復基調が見られましたが、米国の政策動向や金融資本市場の変動等の影響により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界では、政府建設投資や都市部での再開発案件が堅調に推移しており、民間設備投資も持ち直しの動きが見られます。一方、労働需給の逼迫や資機材価格の高騰が工期や収益に影響を及ぼしており、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは今年度より5カ年の新中期経営計画『共に築こう、未来のインフラ都市創出』の成長戦略の施策を遂行し、収益力の更なる強化に取り組みました。海外(タイ・中国)の事業会社は、事業環境の低迷の影響を受け、業績の回復に時間を要しておりますが、国内事業においては概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、167億3百万円(前年同期比10億89百万円、7.0%増)、営業利益は12億31百万円(同81百万円、7.1%増)、経常利益14億4百万円(同1億10百万円、8.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億18百万円(同1億3百万円、11.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 重仮設事業

国内の業績は、案件の進行により概ね計画通りに推移し、売上高は123億96百万円(前年同期比4億59百万円、3.8%増)、セグメント利益は15億47百万円(同1億20百万円、8.4%増)となりました。

② 重仮設工事事業

工事の進捗状況に伴い、売上高は30億90百万円(同4億72百万円、18.0%増)、セグメント利益は1億55百万円(同4百万円、3.2%増)となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

土木・上下水道施設工事、設備工事および工場プラント工事ともに工事進捗により、売上高は12億16百万円(同1億57百万円、14.9%増)となりましたが、一部案件において工事原価増の影響を受け、セグメント利益は32百万円(同16百万円、34.4%減)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比22億16百万円増の347億57百万円となりました。建設機材の増加額13億85百万円、現金及び預金の増加額6億87百万円などによるものです。

負債合計は、前期末比14億98百万円増の175億82百万円となりました。電子記録債務の増加額17億90百万円、借入金の増加額7億76百万円と支払手形及び買掛金の減少額6億72百万円などによるものです。

純資産合計は、前期末比7億18百万円増の171億75百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益10億18百万円の計上と配当金の支払による減少額4億12百万円などによるものです。この結果、自己資本比率は1.0ポイント減の47.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は期初予想通り進捗しており、また、本日開示いたしました「竹本基礎工事株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に関しましては、当社の中期経営計画の成長戦略である収益力の更なる強化に繋がる取り組みとなりますが、2025年3月期に通期連結業績に与える影響は軽微であります。現時点において、2024年5月10日公表の2025年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。今後、第4四半期の状況について精査のうえ、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	443	1,131
受取手形、売掛金及び契約資産	5,826	5,630
電子記録債権	2,057	1,571
建設機材	8,695	10,081
商品	759	930
材料貯蔵品	265	258
未成工事支出金	66	29
その他	220	674
貸倒引当金	△40	△47
流動資産合計	18,295	20,259
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,099	1,126
有形固定資産合計	9,126	9,153
無形固定資産	6	6
投資その他の資産		
投資有価証券	4,769	5,012
退職給付に係る資産	144	182
その他	211	156
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	5,111	5,338
固定資産合計	14,244	14,498
資産合計	32,540	34,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,121	4,449
電子記録債務	1,895	3,686
短期借入金	1,852	1,781
1年内返済予定の長期借入金	1,165	1,365
未払法人税等	207	101
契約負債	840	941
賞与引当金	284	201
その他の引当金	46	7
その他	1,412	936
流動負債合計	12,826	13,470
固定負債		
長期借入金	2,265	2,912
退職給付に係る負債	25	25
その他	967	1,174
固定負債合計	3,258	4,112
負債合計	16,084	17,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	9,945	10,551
自己株式	△437	△438
株主資本合計	13,083	13,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	517	562
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	298	376
退職給付に係る調整累計額	△39	△35
その他の包括利益累計額合計	2,753	2,879
非支配株主持分	619	607
純資産合計	16,456	17,175
負債純資産合計	32,540	34,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	15,614	16,703
売上原価	12,603	13,508
売上総利益	3,011	3,195
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	1,025	1,066
福利厚生費	211	222
地代家賃	135	136
退職給付費用	18	10
貸倒引当金繰入額	15	7
賞与引当金繰入額	87	94
その他	367	425
販売費及び一般管理費合計	1,861	1,964
営業利益	1,149	1,231
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	30	48
持分法による投資利益	89	108
その他	52	50
営業外収益合計	172	207
営業外費用		
支払利息	20	27
その他	7	7
営業外費用合計	28	34
経常利益	1,294	1,404
税金等調整前四半期純利益	1,294	1,404
法人税、住民税及び事業税	194	242
法人税等調整額	193	170
法人税等合計	388	412
四半期純利益	906	992
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	1,018

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	906	992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	44
退職給付に係る調整額	△19	2
持分法適用会社に対する持分相当額	58	79
その他の包括利益合計	150	126
四半期包括利益	1,056	1,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	957	1,131
非支配株主に係る四半期包括利益	98	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	9,915	—	428	10,344	—	10,344
一定の期間にわたり移転 される財	2,021	2,618	630	5,270	—	5,270
顧客との契約から生じる 収益	11,937	2,618	1,058	15,614	—	15,614
外部顧客への売上高	11,937	2,618	1,058	15,614	—	15,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,937	2,618	1,058	15,614	—	15,614
セグメント利益	1,427	150	49	1,627	△478	1,149

(注) 1 セグメント利益の調整額△478百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
一時点で移転される財	10,290	—	420	10,710	—	10,710
一定の期間にわたり移転 される財	2,106	3,090	795	5,992	—	5,992
顧客との契約から生じる 収益	12,396	3,090	1,216	16,703	—	16,703
外部顧客への売上高	12,396	3,090	1,216	16,703	—	16,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,396	3,090	1,216	16,703	—	16,703
セグメント利益	1,547	155	32	1,736	△504	1,231

(注) 1 セグメント利益の調整額△504百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	120百万円	135百万円